backlog by nulab

管理職の業務過多

を解決する

プロジェクト・タスク管理術



多くのプロジェクト現場の声に耳を傾けると、
下記のような課題が共通して見えてきました

お悩み

マネージャーの誰にも言えない「本音」、ここで吐き出していきませんか？

状況確認やメンバーのフォローに翻弄され、自身の重要な実業務が後回しに



複数の管理表やチャットの履歴を一人ずつ追いかけるなど、報告資料の作成に膨大な工数がかかる

状況把握の属人化が原因で、
管理職が自分の仕事に手をつけられないという声が多数。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

なぜ「管理職の業務過多」に陥ってしまうのか？
― プレイングマネジャーの限界と確認作業の壁 ―

業務が圧迫される原因は、メンバーの進捗や判断の経緯を「その都度確認しないと見えない」仕組みにあります。

現状

状況把握が属人化している『ブラックボックス』状態



問題点

確認作業による実務圧迫

- 個々のタスクや進捗が周囲から見えない
- 状況の整理や把握に膨大な時間と労力がかかる
- 報告資料の作成に時間を費やしている



セルフチェック

- メンバーに「あれどうなった？」と確認して回るだけで午前中が終わってしまう
- メンバーが今どのタスクでつまづいているのか、直接本人に聞くまでわからない
- 報告資料を作るために、チャットの履歴を一人ずつ追いかけている

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

管理職の負担を軽減する、タスクマネジメント3つのルール

管理職の「確認作業」をなくし、
現場が自律的に動き、状況が自然と可視化される仕組みを構築する

ステータスを自動共有



- 聞かなくても全員の進捗がひと目でわかる環境を作り、確認の手間を削減する

判断経緯の記録



- 「なぜこの進め方になったのか」という背景や文脈を、タスクに紐づけて書き残す
- 過去の経緯を探す手間を削減する

タスクと進捗を一覧表示



- すべてのタスクを整理・提示する仕組みを作る
- 報告資料をゼロから作る手間を省く

次のページから、**Backlogを活用した解決のヒント**をご紹介します！

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

「Backlog」とは？

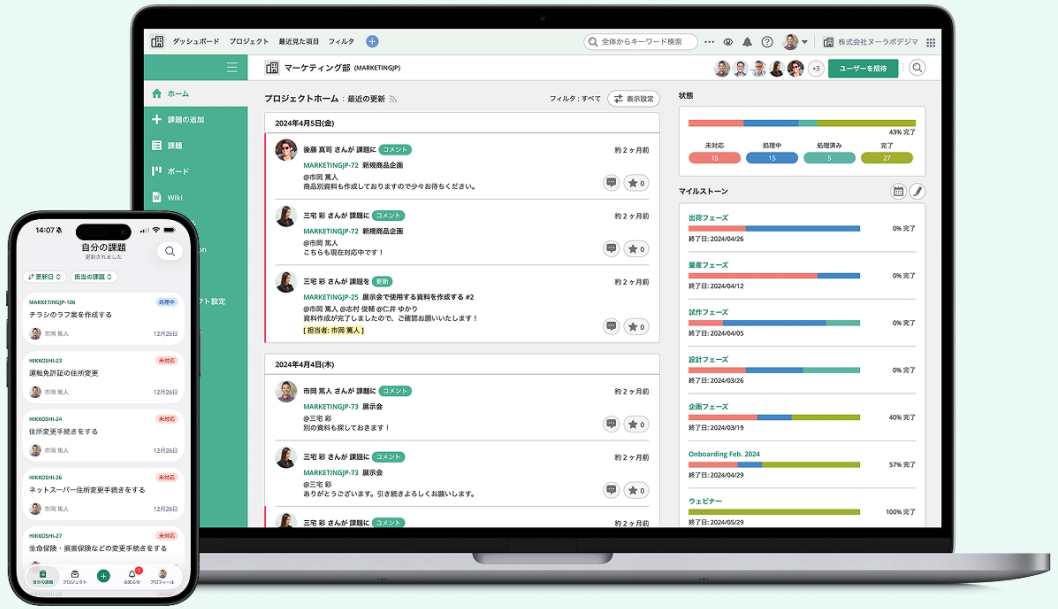
チームのタスクを可視化しコミュニケーションを促進する、
プロジェクト・タスク管理ツールです。

Backlogの特長

シンプルな操作性
直感的なインターフェースで誰でも簡単に使いこなせます

親しみやすいUI
使いやすさを重視した“仕事が楽しくなる”デザイン

チームで働くすべての人に
チーム全体の業務やタスクを可視化し、情報を一元管理できる多彩な機能



backlog by nulab

主な用途

- プロジェクト管理
- タスク管理
- バージョン管理
- ナレッジ共有

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 1　メンバーのタスクを可視化し状況を効率的に把握する

使用する機能：「課題」「ガントチャート」



- 担当者をはじめ、期限、タスク内容を「課題」として明確に登録できます。
- 「課題」を登録すると、自動的に「ガントチャート」が生成され、メンバーのタスク状況が一目でわかるようになります

メンバーのタスク状況を可視化し簡単に把握できるようにすることで、
状況確認の手間を削減できます。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 2　コメント機能でやりとりを可視化

使用する機能：「コメント」



- Backlog内でタスクに紐づく形で
  可視化できます
- 「なぜこの進め方になったのか？」といった
  経緯を、担当者に聞くことなく確認できます
- タスクの変更履歴も残るため、
  いつ・誰が・何をしたのか一目でわかります

メンバーがタスクやプロジェクトをどのように進めたかの経緯や文脈を
可視化・記録することで、状況確認の手間を削減できます。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 3　マニュアルや資料を用意し、誰でもアクセス可能にする

使用する機能：「ドキュメント」「ファイル」



- ドキュメントやファイルに資料やマニュアルを集約し、チームのナレッジを一箇所で管理できます
- 情報が蓄積されることで、担当者の異動や退職があっても、スムーズに業務を引き継ぐことができます

マニュアルや資料を用意し、誰でもアクセス可能にしておくことで
業務の再現性が高まるため、教育の手間の削減につながります。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 4　AI活用で簡単に情報収集

使用する機能：「Backlog AIアシスタント」



Backlog AIアシスタントに質問すると、
Backlogに蓄積された情報から
必要なものを整理・要約して提示します

プロンプト例

- このプロジェクトの進捗をまとめて
- 遅延リスクがある課題を担当者別に抽出して
- このプロジェクトの先月の活動レポートを作成して

Backlogに蓄積された情報を、AIが資産として活用できるようになります。
メンバーのプロジェクト・タスク状況の把握はもちろん、過去の実績から必要な情報を
簡単に収集できるため、状況確認やレポート作成の手間を削減できます。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Backlogのご案内



まずは
体験してみませんか？

30日間無料で試す



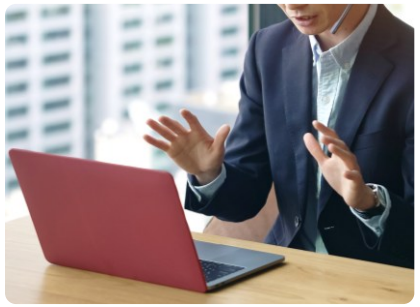
Backlogがわかる！
資料3点セット公開中

ダウンロードする



オンラインセミナー
開催中

セミナーに申し込む



オンライン個別相談も
可能です

個別相談を予約する

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004年3月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.